

臨床研究に関する情報公開

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、個別の説明と同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題】

腰椎単純 X 線画像を利用した骨粗鬆症スクリーニング – 散乱線補正処理を使用した検討 –

【研究責任者】

斗南病院 放射線部 佐々木 亮祐

【研究目的】

骨粗鬆症により骨折が生じると、特に体幹部骨折の場合は、患者は寝たきりを惹起するなど、日常生活に大きな支障をきたす原因となる。骨粗鬆症の診断では骨の形状を確認するために、腰椎一般 X 線の検査に加えて、二重エネルギー X 線吸収測定法（Dual-energy X-ray Absorptiometry: DXA）による腰椎および大腿骨の骨密度測定が推奨されている。現在、一般 X 線画像の撮影と骨密度測定は、それぞれ別の装置で行われており、被検者は装置間を移動しなければならず、また骨密度測定の際に撮影の位置決めをし直して、その体勢を数十秒間維持する必要がある。そこで腰椎単純 X 線画像に対して、本来使用しない散乱線補正処理をかけることで仮想的に二重エネルギーを作り出していると仮定し、その X 線吸収値の差と骨密度の相関を取ることで、腰椎単純 X 線画像のみで腰椎及び大腿骨の骨密度が推定されるか検討する。

【研究期間】

機関長許可後から 2026 年 4 月 30 日まで

【研究対象】

2024 年 4 月～2024 年 7 月の期間において、当院で腰椎単純 X 線撮影と骨密度測定を施行した患者画像データ

【研究に利用する情報】

腰椎単純 X 線画像 骨密度解析データ

【個人情報の取扱い】

研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守する。調査により得られた情報を取扱う際は、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにする。本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含まないこととする。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用しない。

*上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

斗南病院

放射線部 佐々木 亮祐 電話 011-231-2121